

## 第17回 平成28年度

## 高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム 参加報告

河原 夏江 化学・生物技術分野

## 1. はじめに

平成28年度高エネルギー加速器研究機構(KEK)技術職員シンポジウムが、平成29年1月19日、20日に開催された。本技術職員シンポジウムは、技術職員に関わる課題に対する各機関の取り組みや新たな課題などを中心に情報交換・意見交換を行うことを目的に毎年開催されている。今年度は、30機関72名の参加があり、本学からは菅田、大塩、河原の3名が参加した。

## 2. 概要

期日：2017年1月19日(木)～20日(金)

会場：大学共同利用機関法人

高エネルギー加速器研究機構(KEK)

小林ホール(茨城県つくば市)

参加者：30機関 72名

テーマ：「技術職員関連の見える化活動」

「若手の育成とシニア層の活躍」

HP: <http://www-conf.kek.jp/eng-sympo2016/>

## 3. 内容

今年度は、「技術職員関連の見える化活動」と「若手の育成とシニア層の活躍」がテーマであった。KEK技術賞講演の他、KEKを含め11機関からの報告があった。また、それぞれのテーマの意見交換会が行われ、聴講者からもいろいろな意見が出され、限られた時間の中、活発に議論された。

第1日目は、「若手の育成とシニア層の活躍」のテーマについて、沖縄高専、京都大学、東京大学、電気通信大、九州大学より報告があった。若手の育成については、各機関で実施している研修制度についての紹介が多かったが、技術や経験の

伝承のために、一人職場を二人職場にするなど組織の改組を行う必要性も報告された。また、近年技術職員の業務が増加し、研修の企画・準備等が負担になってきたため、外部の研修専門業者に依頼するなど研修の効率化についても検討されていた。意見交換会では、計画的な新人の採用方法、選考採用の問題点、研修費用の確保、シニア層の役割などについて議論された。

第2日目は、「技術職員関連の見える化活動」について、高知大学、名古屋工業大学、東北大学、自然科学研究機構、宇都宮大学、高エネルギー加速器研究機構より報告があった。技術発表会の開催、報告集やホームページの作成などの取り組みが紹介された。教員、学生、事務職員から必要とされる組織となるため、全学の行事や委員会に積極的に参加することや、学生からも見てもらえるようなホームページの作成が提案された。

## 4. おわりに

他機関の様々な取り組みを知ることができ、大変参考になった。これまでの本シンポジウムでの報告内容は、Web上で読むことができるので、是非一度、閲覧することをお勧めする。

